

長久手市公共交通利用促進一覧

資料 4

現在実施している利用促進

事業名	実施主体	頻度・実施期間	内容	周知方法(計画⑧) 周知・広報活動の強化)	周知及び利用促進策の対象者	実績	備考
公共交通キッズイベント	公共交通応援隊 キッズイベントチーム 市民の方:5名 (企画政策課内)	年に1.2回 夏から秋が多い	市内在住の小学生及び未就学児を対象(例外あり)に開催している公共交通利用促進イベント。ペーパークラフト、プラバン作り等の工作や、リニモ車庫見学等を行った。	市内保育園や児童館、学童にチラシを配布及びイベント説明。ホームページや、子育て支援アプリに掲載。	市内在住の小学生及び未就学児とその保護者	R元 156名 R2 33名 R3 38名	計画(6) 市民参加型の利用促進の展開・継続
公共交通マップ	企画政策課	令和3年4月 Nーバス再編時 (3年から5年に1回)	Nーバス、リニモ、名鉄バスの路線図や、Nーバスのダイヤ、長久手市に乗り入れる近隣市町のコミュニティバス情報、バスの乗り方やバスロケーションシステムの使用方法等を掲載した。	マップを、愛知医科大学病院、イオン等市内各公共施設や近隣市役所に配布。長久手市ホームページに掲載。2000部作成、約1200部配布済。	長久手市内在住、在勤、在学の方や沿線市の住民		計画(7) 公共交通マップの更新
バス停デザインの変更	安心安全課	令和3年度 Nーバス再編時 (令和2年度検討)	愛知県立芸術大学のデザイン科教授と連携し、Nーバスバス停のデザインを変更。印象学の観点から伝わりやすさや、親和性を重視し、デザインを変更				計画(9) 各関係機関と連携した利用促進の展開
Nバス路線再編	安心安全課	概ね5年に1回	Nーバス利便性向上に向け、市民の方へのアンケートや調査、パブリックコメントを行ったうえ、運行路線及びダイヤの改定を行った。令和3年度の路線再編では、乗り継ぎ負担の軽減を重視した路線再編となった。	広報及びホームページにて周知。また、Nーバス路線図及び時刻表をポケット版、二つ折りA4版にて関係施設に配布。高齢者施設、障がい者施設、福祉事業所等を回って説明。バス停や車内での掲示。Nーバス路線マップ全戸配布。	長久手市内在住、在勤、在学の方や沿線市の住民	令和3年4～9月比 R3 69,524人 前年度4～9月比 (-約3.7%)	計画(2) 利用状況やニーズに応じたバス路線への見直し
リニモウォーキング	愛知県都市・交通局 交通対策課	年に3回程 (春風、愛環×リニモなど季節やコラボ先の名前がつけられる)	スタート駅に指定されたリニモ駅を出発し、沿線各地を周遊しながら目的地の駅まで歩くイベント。リニモを使用してスタート駅にお越しいただいた方に2ポイント、そのほかの方1ポイント券つきコースマップを渡して、ポイント数に応じてピンバッジプレゼント。	リニモ各駅及び長久手市他沿線市町にて、チラシ設置。また、ホームページ掲載。愛知県各新聞社やメディア関係者へ記者発表。	長久手市他リニモ沿線市町の住民をはじめとした愛知県民	春風2021 計3回 延1,400名 秋色2021 計2回 延1,600名 愛環×リニモ2021 計1回 延1,100名	
リニモツアーズ	愛知県都市・交通局 交通対策課	年に1回 (夏休み期間中)	小学生を対象に、リニモ沿線施設の講座を受講していただく体験型イベント。例えば、愛知県立大学や愛知工業大学の工作や、シンシアの丘での介助犬講座がある。	リニモ各駅及び長久手市他沿線市町にて、チラシ設置。また、ホームページ掲載。愛知県各新聞社やメディア関係者へ記者発表。	長久手市他リニモ沿線市町の住民をはじめとした愛知県民	令和3年度 232名 22講座中8講座開催 中止した14講座のうち 8講座分冬に開催予定。	
リニモスタンプラリー	愛知県都市・交通局 交通対策課	年に1、2回	毎年様々な分野とコラボしリニモ沿線地域を巡るスタンプラリー等を開催している。令和2年度は、長久手市観光交流協会や長久手市内飲食店との連携で、グルメスタンプラリーや長久手コレクション秋2020～光と音の散歩路～を、令和3年度はひつじのショーとコラボした、デジタル式スタンプラリーを開催している。	リニモ各駅及び長久手市他沿線市町にて、チラシ設置。また、ホームページ掲載。愛知県各新聞社やメディア関係者へ記者発表。	長久手市他リニモ沿線市町の住民をはじめとした愛知県民		
リニモ沿線マップ	愛知県都市・交通局 交通対策課	年に1回更新 3月頃配布開始	リニモや沿線施設に関する情報、公共交通機関の利用を促す情報を掲載したマップである。	長久手市市民課で転入者の方に配布。	長久手市他リニモ沿線市町の住民をはじめとした愛知県民		
リニモ体験乗車券	愛知高速交通株式会社	発売時間 9時から18時	大人400円、小児200円として、愛地球博記念公園駅で発売している。乗車することが目的であるため、入退場は愛地球博記念公園駅のみであり、他の駅から退場不可。	愛知高速交通株式会社ホームページにて掲載 体験乗車パンフレットを作成し、公共交通キッズイベント等で配布	主に、リニモ沿線在住、在勤、在学の方		計画(5) 企業と連携した公共交通利用促進の展開
リニモ社会見学	愛知高速交通株式会社	見学可能時間 月から金の 10時30分から正午 13時から15時	小学校3年生以上の学校行事で、リニモを1区間以上乗車することを条件に、リニモの車両基地や運転司令室見学などを行っている。料金は無料(但しリニモ乗車賃必要)	愛知高速交通株式会社ホームページにて掲載	小学校教職員	H30年度:8校 698人 R1年度:8校 842人 R2年度:5校 416人	計画(5) 企業と連携した公共交通利用促進の展開
クテポ	イオンモール長久手	随時	交通系ICカード(manaca等)を使用し、リニモ長久手古戦場駅を降りた後、イオン2階インフォメーション横にあるクテポという緑色の機械にmanaカをタッチすることで10ポイント付与。100ポイント100円分、200ポイント300円分、300ポイント500円分のお買い物券を付与。土休日は加えて100円のお買い物券を付与。	イオン長久手店内でポスターを掲示、及びイオン長久手店ホームページに掲載。 愛知高速交通株式会社ホームページに掲載。 リニモ八草駅及び長久手古戦場駅にポスターを掲示。	リニモ利用者、イオンモール長久手周辺在住、在勤、在学の方		計画(5) 企業と連携した公共交通利用促進の展開

事業名	実施主体	頻度・実施期間	内容	周知方法(計画⑧) 周知・広報活動の強化)		実績	備考
乗り方講座	名鉄バス株式会社	随時	主に自治体の利用促進イベントで開催している。	主催する自治体によって異なる。	名鉄バス沿線自治体	令和3年度実績 8件開催 (年度内にさらに2件 実施予定)	計画(5) 企業と連携した公共 交通利用促進の展 開
ゴールドパス シルバーパス	名鉄バス株式会社	随時	名鉄バス全線(一部路線除く)利用可能である。シルバーパス65は満65歳～69歳の方対象で1か月6000円、ゴールドパス70は満70歳以上の方対象で1か月5000円である。交通系ICカードに搭載して使用するため、乗車及び下車の際にICカード読み取り部にタッチする。	チラシを関係施設に配布。 長久手市では、企画政策課、安心安全課及び市民課窓口に配布。	65歳以上の方		計画(5) 企業と連携した公共 交通利用促進の展 開

## 参考

事業名	実施主体	頻度・実施期間	内容	周知方法(計画⑧) 周知・広報活動の強化)	対象地区	実績	備考
リニモ沿線住宅地誘導	市及び民間事業者		リニモの恒久的な利用者を確保・維持するため、公園西駅北側、南側において区画整理や民間開発による住宅地の誘導を推進している。		リニモ駅を中心とした概ね1キロ圏内	大型商業施設及び 1,000世帯程度の住宅 地	

## 今後実施する(考えている)利用促進

Nーバス65歳以上の 有料化に対する負担軽減 策(フリーバス及び回数券)	安心安全課	令和4年4月	運行開始から現在まで65歳以上の利用料が無料であったが、県内で収支率が低い状況が続いているため、要介護者や運転免許返納者等一部を除き、有料化する。 有料化に伴い、1か月及び3か月、6か月のフリーバス、100円券11枚つづりで1,000円の数回券を導入する。	広報及びホームページにて周知。また、Nーバス路線図及び時刻表をポケット版、二つ折りA4版にて関係施設に配布。高齢者施設、障がい者施設、福祉事業所等を回って説明。バス停や車内での掲示。また、車内放送で告知できないか名鉄バス株式会社と協議中。	65歳以上の方		
リニモ長久手古戦場駅に Nーバス時刻表及び、くる りんバス時刻表(日進)設 置	愛知高速交通株式会社 長久手市 安心安全課 日進市 防災交通課	随時	市外への広域的な移動促進策として、リニモ長久手古戦場駅にNーバス及びくるりんバス(日進市のコミュニティバス)のマップを設置する。 Nーバス(中央線、西部線、東部線)、くるりんバス(五色園線)がそれぞれリニモ古戦場駅と隣接したバスターミナルに乗り入れるため、乗り継ぐ際に便利となる。		リニモ、Nーバス、くるりんバス 利用者、沿線在住、在勤、在学 の方		計画(5) 企業と連携した公共 交通利用促進の展 開
Nーバスグッズ ガチャガチャ	企画政策課 安心安全課	随時	過去にNーバスの啓発品として作った、キーホルダーや、マグネット等をガチャガチャで販売する。(子ども家庭課、子ども未来課、安心安全課、市民課に設置) 今後、近隣大学等関係団体と連携し、随時新商品を投入していきたい。	ホームページや広報での周知を考えている。	市内在住のお子様		計画(9) 各関係機関と連携し た利用促進の展開

### 1. 計画の目標を達成するために行う事業・実施主体

本市が目指す公共交通の将来像の実現と、公共交通に対する取組の基本方針を踏まえて、よりよい公共交通体系を形成するために以下の事業に取り組み、第2次網形成計画の目標達成を目指す。事業は、2019～2023年度の5年間で実施する。

表 1-1 計画事業及びその実施主体とスケジュール

種別	主要施策と計画事業	対応する基本方針	実施主体	実施時期の目安（年度）					
				2019	2020	2021	2022	2023	
1. 公共交通の確保・維持・改善	(1) 公共交通網の確保・維持	基本方針1	交通事業者 長久手市						
	(2) 利用状況やニーズに応じたバス路線への見直し ①Nーバスの見直し（路線・案内表示等） ②市外に接続する公共交通機関との連携	基本方針1 基本方針2 基本方針4	交通事業者 長久手市						
	(3) 移動困難者への支援の拡充	基本方針3	交通事業者 長久手市						
	(4) Nーバス及び新しい移動サービスの見直しの仕組みづくり	基本方針2	長久手市 交通事業者						
2. 利用促進方策	(5) 企業と連携した公共交通利用促進の展開	基本方針4	交通事業者 商業事業者等 長久手市						
	(6) 市民参加型の利用促進の展開・継続	基本方針4	市民 長久手市 交通事業者						
	(7) 公共交通マップの更新	基本方針4	長久手市 交通事業者						
	(8) 周知・広報活動の強化	基本方針4	長久手市 交通事業者						
	(9) 各関係機関と連携した利用促進の展開	基本方針4	長久手市 関係機関						
3. 調査	(10) 定期的な利用データ取得のための公共交通利用実態調査	基本方針1	長久手市 交通事業者						

※： 検討 実施・継続